



そうだんサポートセンター なみ

地域相談支援、計画相談支援、障害児相談

さりげなく寄り添う

相談支援専門員 高橋 浩二

コロナ感染症も少し下火になったのも束の間、オミクロン株と言う新種の進出により、第6波の兆しが強くなってきた今日この頃、

何とか合間を縫って年末年始に自宅への帰省をされた方もいらっしゃると思います。家族との久しぶりの再会に、心躍らせ、心地よい時間を持てたのではないかと思います。「実家は良いよね。やっぱり実家は落ち着くなぁ」等と感じた方も多いのではないでしょうか？

相談支援の関わりの中でも、利用者さん一人一人の生活の場や働く場所についての相談を受けるケースも多くあります。また、親亡き後の生活の場を何処にすれば良いのだろうか？入所施設もグループホームも空いていない、一人での生活は難しい、何か方法はないだろうか？と家族の方は将来の不安でいっぱいです。中には、今は大丈夫だから、その時になったら考えますと言うご家族の方もいらっしゃいます。地域の現状は、全てのニーズに対し、一度にお応えできる社会資源は少ない状況ではありますが、相談支援としても一人一人が安心して過ごせる場所、何処で誰と過ごしたいか等のニーズに答えなければなりません。相談支援専門員としても頭の痛いところではありますが、本人とご家族の希望やニーズに耳を傾けながら、そっと寄り添い、何かあったら直ぐに相談して頂けるような関係性を保ちながら、今後も相談支援専門員として頼られる存在になれるように、継続的に努力していきたいと思っています。

私たちのSDGs【いつも傍で・心地よい距離感で・ずっと見守っている】

- ※ 日南市相談支援事業受託
- ※ 日南市地域自立支援協議会事務局員
- ※ 指定特定相談支援事業者計画相談支援
障害児相談支援
- ※ 日南市障害者施策推進協議会委員
- ※ 日南市要保護児童対策地域協議会参加
- ※ 日南串間成年後見ネットワーク協議会参加

◎費用は無料です。どんなことでも、まずはお気軽にご相談下さい。

●●●●●●●●●●
**そうだんサポート
 センター なみ**
 ●●●●●●●●●●



トピックス



当法人の富山理事のYouTubeチャンネルです。つよし会事業所をドローンで撮影した動画がUPされます。どうぞご覧になってください。



▶ 詳しい内容は
 つよし会だより



Series 「つよし学園と鶺戸さん」①

つよし学園と「運玉」作り

鶺戸神宮 宮司 黒岩昭彦

鶺戸神宮の社頭では、「キヤー」とか「やったー！」といった歓声や、「あ〜っ惜しい」という嘆息まじりの声などが飛び交います。いうまでもなく、「運玉」投げに興じる参拝者の声です。年間およそ150~200万個の運玉が、ご本殿前の崖下にある亀石の窪みめがけて投げ込まれます。「運」と刻印された素焼きの丸玉は、直径2cm、重さ6gほどの大きさです。素朴で温かみを感じられます。

かつて、この運玉に危機がせまったことがありました。

というのは、それまで中心的に運玉作りをお願いしていた鶺戸小学校の生徒数が少子化で減少し、平成23年度をもって鶺戸中学校との合併を余儀なくされたのです。運玉作りにも支障をきたすことが予想されました。当宮にとっては緊急事態です。

その救世主となったのが「つよし学園」です。

昭和43年より鶺戸小の委託を受け作製してきた経緯がありましたが、平成22年正月より直接納入となりました。同21年12月8日付『鶺戸神宮日誌』には、「つよし学園 正月運玉納入」とあります。今では鶺戸小中学校を大きく上回る数の運玉を作って納めていただいています。つよし学園とのつながりは増すばかりです。

ところで、運玉を作るにも数々の手順があることを、つよし学園ホームページの「日中活動（運玉作り）」の記述から教えられました。

つよし会では年間80万個、運玉を作成
しています☆

粘土を丸めて印押しをして火入れをした
り袋詰め等々様々な工程があります！

1つ1つ思いを込めて運玉を作ってい
ます#^.^#

鶺戸神宮に参拝に行かれた際には是非、
運玉を投げてみてください。



この、運玉作りに込めた「1つ1つ思い」こそが、運玉投げを支え、そして何よりも参拝者に笑顔をもたらす優しさであることを知ったのです。

運玉を作って下さる方々への感謝の言葉しか見つかりません。これからも、このご縁を大切につなげていただけたらと、切に願います。

黒岩宮司様には今後掲載していただくことになりました。